

## 金子校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成24年8月7日(火) 19:00~20:00  
場 所 地域交流センター  
参加者数 男70人 女10人 合計80人



### 1. 校区設定市政課題

課題名 ( 防災行政無線の試験放送の平時の有効運用について )

城下自治会 元木さんから課題説明

討議内容

[質問]

町民一同が待ちに待った防災行政無線が、本年度中に各自治会広報設備と接続されるとの情報をいただき、うれしく思っております。当該工事が施工された後は、万が一災害が発生したときでも、瞬時に知らせていただけることになり、安堵いたしております。

現在、各々の自治会で行っている市よりの広報について、平時の機器の試験放送を兼ねて、市より市民一同に広報していただければ、各自治会の広報の大部分が軽減されます。

早朝から大勢の放送担当者が、各町内で一斉に同じ文面で広報する活動が大幅に改善されます。また、放送の漏れもなく、確実に真意が届くことと思います。

各々の自治会で行っている市よりの広報について、平時の機器の試験放送を兼ねて、市より市民一同に広報していただけないでしょうか。

[回答：市長]

本市といたしましては、防災・減災の基本は、まず災害に関する正確な情報を一刻も早く、広く市民の皆様にお伝えすることではないかと考えております。

このようなことから、災害情報等の迅速な伝達手段の一つとして、防災行政無線を整備し、平成23年4月より運用を開始しました。

この防災行政無線は、各公民館など市内23箇所の屋外拡声子局を含めた30箇所のスピーカーからの一斉放送が可能なシステムとなっております。

しかし、現状では、公民館等から離れた地域におきましては、放送の届かないエリアがありますことから、今年度、市内各自治会の所有している放送設備と接続し、災害情報等のより広範囲なお知らせが行えるよう、平成24年度中に施設整備を実施し、平成25年4月の供用開始を予定しており、災害時の緊急放送はもちろんのこと、平時においても、より有効に活用いたしてまいりたいと考えております。

現在は、市役所からのお知らせなどにつきまして、市から依頼して自治会放送を実施していただいておりますが、今年度整備する防災行政無線を利用して、市が直接放送できるよう、その手順や内容等について、庁内関係課で検討しているところでございますが、今後におきましては、新居浜市から自治会に依頼しております放送につきましては、今回の整備を活用して、直接市が放送できるような体制を整備いたしてまいりたいと考えております。

## 2. 地域課題

課題名（ 「サーパス久保田南」、「平田外科」東側道路の冠水対策について ）

久保田自治会 大島さんから課題説明

質疑応答

[質問]

以前より豪雨になると、高木町以北の久保田地区は、排水溝がオーバーし道路が冠水しています。特に「サーパス久保田南」の東側道路の排水が悪く道路が冠水します。また、「平田外科」の東側の排水路も同様です。

冠水の原因は、高木地区の雨水がすべて久保田地区へ流入し、排水能力が不足しているものと思われます。対策としては、たとえば、高木地区の雨水を東川へ流す排水路を新設する。高木地区の雨水が集中する「アンシャンテ・マナベ」北より東川まで約150mの排水溝を新設すること等が考えられます。是非、冠水対策をお願いします。

[回答：下水道建設課長]

当地区の浸水対策といたしまして、平成24年度は「平田外科」東側道路の下流域において、開水路をボックスカルバート（暗渠化）として改修する工事を10月に発注する予定としております。引き続き「平田外科」東側の排水路の改修工事についても、平成25

年度に着手する予定としております。

「サーパス久保田南」の東側排水路につきましては、平成24年度で整備する「平田外科」東側下流の排水路に流入しており、整備後はその流下能力も現状よりは改善されると思われまことから、整備後の状況を見て検討したいと考えております。

また、「高木地区の雨水を二級河川東川へ排水して欲しい」というご要望につきましては、河川管理者の愛媛県や用水路の管理者である土地改良区との協議も必要であり、時間を要すると思いますが、平成25年度に当地区の雨水排水処理に関する基本設計を行うなかで検討してまいりたいと考えております。

課題名（ 「金子小学校」「金子保育園」東の南北道路横の排水路への蓋の設置について ）  
久保田自治会 大島さんから課題説明

質疑応答

[質問]

「金子小学校」「金子保育園」東の南北道路横の排水路には、約40mにわたって蓋がありません。排水路の溝の深さは、1.5m位あり、人が落下すると大怪我をする危険があります。本道路は、金子小学校の通学ルートであり、また交通量が増加し、交通事故の危険があります。排水路に蓋を設置すれば、歩行通路になり、安全が確保できます。溝への蓋の設置を要望します。

[回答：市長]

水路の蓋かけにつきましては、隣接する土地所有者と水路管理者である地元土地改良区との同意が不可欠で、蓋かけの構造についても協議が伴います。関係者との同意及び協議が整いましたら、順次対応していきます。土地所有者と土地改良区の同意については、地元自治会の協力をお願いします。

課題名（ 地域交流センター東側の隣地について ）  
庄内自治会 藤田さんから課題説明

質疑応答

[質問]

地域交流センターの駐車場が、月曜日・火曜日にはいっぱいとなります。ほかの曜日も利用団体によっては、駐車場が不足します。今年から、防災訓練もはじまり、各団体のイベント等、屋外での多目的に活用する場所として東側の隣地が必要であります。是非、ご検討をお願いします。

[回答：市長]

駐車場といたしましては、昨年も申し上げましたように、南隣にあります、心身障害者

福祉センター運動場を利用できるように、駐車場から行き来ができるようなつくりといたしております。イベント時等には心身障害者福祉センターとの相互協力により対応していただけたらと思います。

また、地域交流センターとして多目的に活用できる場所を新たに確保することは現実的に難しいと考えております。